

「あじかた」の魅力 学び・体験して・伝えよう



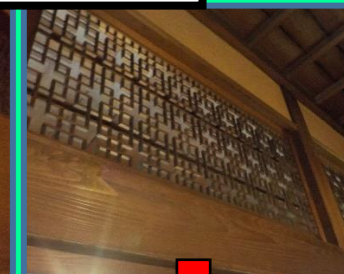
味方中学校

3年生「笹川邸の学習」・「地域の偉人に学ぶ」

2つの視点から「笹川邸」の魅力にせまる

歴史的視点

建築学的視点



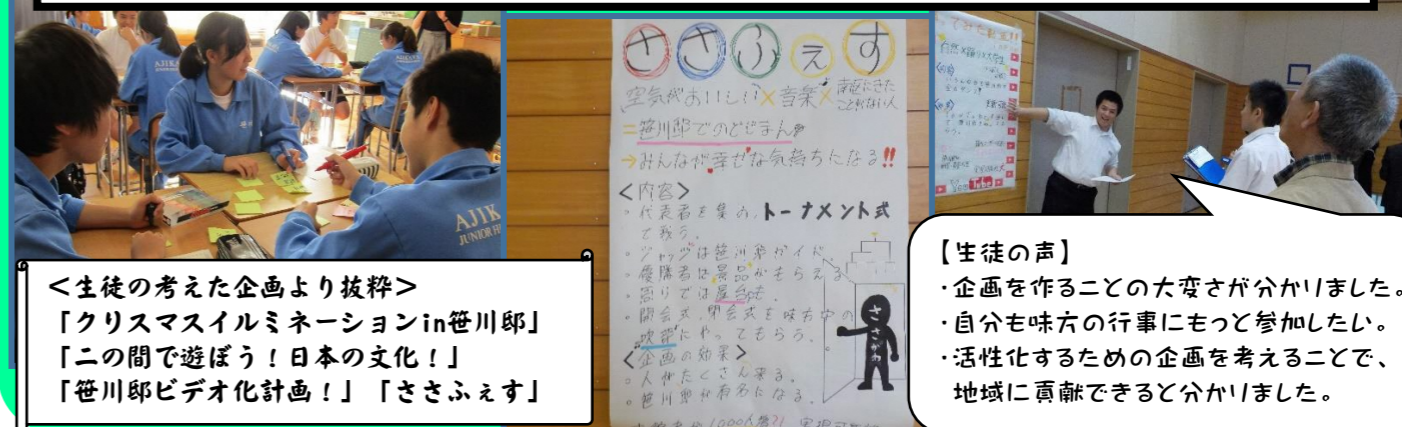
学んだことを現地で確認・ガイドシナリオ作成・リハーサル



笹川邸イベント「収穫祭」での一般来場者への施設案内ガイド



地域の財産を未来へ残していくための企画を検討・提案・発信



＜生徒の考えた企画より抜粋＞
「クリスマスイルミネーションin笹川邸」
「二の間で遊ぼう！日本の文化！」
「笹川邸ビデオ化計画！」「ささふえす」

【生徒の声】
・企画を作ることの大変さが分かりました。
・自分も味方の行事にもっと参加したい。
・活性化するための企画を考えることで、地域に貢献できると分かりました。

あじかた 地域 3つの ＜財産＞



1 白根大凧合戦

江戸時代中頃、白根側で凧を揚げたところ、対岸の西白根側に落ち田畑を荒らしたことに腹を立て、対抗して白根側に凧を落としたことが起源と言われています。

2 旧笹川家住宅(笹川邸)

安土桃山時代に信濃国水内郡笹川村からこの地に移住したと伝わり、14代300年にわたり続いた名家。水害の多かった地域での治水、新田開発にも貢献しました。

3 曾我・平澤記念館

平成3年10月に完成したこの記念館は、旧味方村出身の2人の名誉村民一曾我量深師と平澤興博士の功績と遺徳を称え、永く後世に継承するために建てられました。



考え、体験し、発信する活動を通して、地域への愛着を深め、コミュニケーション力を高め、自分への自信につなげていく。

【現状と課題】

- ・後継者不足により、将来にわたって継承していくためにできることは？
- ・来場者数の減少対策としての、周知や魅力的なイベント等の提案。

1年生「凧制作・大凧合戦」



講師の方々から丁寧に作り方を教えていただき、班で1つの巻凧を制作しました。

大空高く舞い上がりました。



【生徒の声】
自分たちが苦労してつくった凧が揚がって、感動しました。参加する地域の人たちの熱気もすごかったです。

